

# 県民のみなさんへ

熊本県知事 細川護熙

明けましておめでとうございませう。県民の皆様にはお揃いで佳き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年の五月には、阿蘇で「ひろげよう緑の文化」をテーマに、天皇皇后陛下をお迎えして、「第三十六回全国植樹祭」が開催されます。これを機に、かねてから申し上げていまして「緑の三倍增計画」を実施し、世界に誇れる「全県公園化」を強力に推進して参りたいと考えています。



さて、これから迎えようとする時代は、「高度情報化」、「成熟化」、「国際化」という新しい流れのなかで、それぞれの地域が、自らの力で地域社会を築いていくことが求められています。こうした時代の流れを見つめて、昨年「熊本・明日へのシナリオ」をとりまとめましたが、今年はその実現に向けて飛躍の年にしたいと意気込んでいます。

なかでも、「くまもと日本一づくり運動」は、すでに各市町村において鋭意取り組んでいただいています。中央町の石段、阿蘇の野焼き、市房ダムの一万本の桜の里づくりなど各市町村の日本一づくりが、その名を全国に広めつつあります。これらはまさに活力、個性、潤いに満ちた地域づくりにほかなりません。

私は、こうした強い熊本づくりを積極的に押し進め、近い将来、熊本県を九州をリードし、全国の範となるような県にしたいと願っています。ともあれ、県政推進には県民総参加が何よりも必要です。皆様の一層の御理解、御協力をお願いしまして年頭の御挨拶といたします。

## 県政トピックス

ニューメディアに県民の強い関心。くまもと84生活と情報化展



十月三十一日から十一月四日まで、「生活と情報化展」が、熊本市の鶴屋百貨店六階催事場で開かれた。会場には、これから先、家庭にも普及することが予想されるニューメディアが多数紹介された。期間中、入場者も、五万人を突破し、県民の関心の高さを示した。

情報資源都市へ着々と。熊本ビデオテックス発足

十一月一日、(株)熊本ビデオテックスサービスの設立総会が開かれ、十一月三十日、業務を開始した。同社は、県と地元企業十七社の共同出資で設立された会社で、熊本情報案内システム(KINGS)を構築、運用し、観光、特産品、行政情報など、各種情報提供サービスを行うとともに、「キャブテン・システム」と接続して、他地域にも本県の情報を流すサービスを行う。

また、十一月二十日、熊本・大分両市間に建設された光ファイバーケーブルが運用を開始するなど、熊本もニューメディア時代を迎えることとなった。



竹産業の振興に向けて。全国竹の大会



十一月七日から九日まで、菊池市文化会館で、約一千人が参加して、第二十五回全国竹の大会が開かれた。分科会や講演などを通して、厳しい状況におかれている竹産業の振興の方法などが、検討された。

また、会場では、全国有数の生産県でもある、本県の竹製品が展示、販売された。



花き産業への認識を新たに。花を訪ねて―産地紹介バスツアー―

十一月二十二日、花き産業の実情を知ってもらおうと、花の産地を訪ねるバスツアーが実施され、約八十人が参加した。

午前中、キク、バラなどが栽培されている、熊本市田迎町の花き団地や生産農家などを訪れ、現地をつぶさに見て回り、花き産業に対する認識を新たにした。

また、午後からは、花き農協でフラワーデザインの講習を受けた。



新しい名物料理を開発。山鹿・鹿本地方ふるさとの味フェア



十一月二十六日、山鹿市農協会館で山鹿・鹿本地方「ふるさとの味フェア」が開かれた。

これは新しい郷土料理を掘り起し、地域の観光振興に結びつけようと考えられたもので、今回で二回目である。前回出品された料理の中のいくつかは、すでに、地元の旅館の献立に加えられているものもあり、今回のフェアの成果も期待されている。

自然との新しい接点がまたひとつ。県立豊野少年自然の家落成式

十一月三十日、下益城郡豊野村で、「県立豊野少年自然の家」の落成式が、関係者約二百人を集めて、盛大に行われた。

県の施設としては、県北の「菊池少年自然の家」に続く、番目のもので、少年たちが豊野の変化に富んだ自然にふれあう場として期待されている。



なごやかに、力強く。ふれあいの一日。「障害者の日」記念行事

十二月九日、県立劇場で、「障害者の日」記念行事、「希望のつどい」が開かれた。

このつどいも今年で三回目を数え、千二百人の県民が参加して、障害者の体験発表やバンド演奏が行われた。

また、会場周辺では、県内で初めての車いすロードレースも行われ、沿道の住民から、盛んな声援と拍手が送られた。

